



1年学年だより

発行日:令和5年10月31日(火)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:遠藤 広樹 NO.6

パラアスリート秦由香子選手の講演会

校長代理 中澤 務

10月17日(火)7校時、パラアスリート、トライアスロンの秦由香子選手が南高附属中に来校し、講演をしてくださいました。秦選手は講師紹介の後、むき出しの義足で登壇されました。骨肉腫を発症して、中学1年生の時に右脚の膝から下を失った秦選手。「中高6年間は体育の授業に一切参加することがなかった。なんで自分だけこんな目に遭わないといけな



いのかと思っていた。」「パラトライアスロン選手のかっこいい姿にあこがれた。トライアスロンをなぜやっているのと聞かれても、自分はこれを好きでやっているのだ、と答えている。」秦選手は来年のパラリンピック・パリ大会への出場と、東京パラリンピックパラトライアスロン6位以上の結果を出すことができるよう準備を続けています。

「障害をもった人と出会ったとき、わたしたちはどんな態度をとったらよいか」との質問を受け、義足をつけている自分を見かけたとき、日本では、こちらを見ないようにする人が多い、子どもが近寄ってくるようなことがあっても、親がそれを止めてしまうこともある。海外では、義足に興味をもって話しかけてくる人がいる、というようなお話もありました。

南高附属中の生徒が一堂に会する機会って実はそんなに多くはないんですね。今回、体育科の先生を中心にして中学校全校での講演会を企画することができました。また、講演会の様子はテレビ神奈川、タウンニュースに取り上げていただくことができました。(タウンニュース港南区・栄区版10月26日号)

「7校時目に講演を聞いて疲れたでしょう、みんな真剣に聞いてくれて嬉しい。」と秦選手はおっしゃっていましたね。講演を真剣に聞いてくれたこと、積極的にいろんな質問をしてくれたこと、そして講演翌日の振り返りで、秦選手に心のこもったメッセージを書いてくれたことで、南高附属中生徒の皆さんが、秦選手の心を動かしていることは間違いのないと思いますし、そんな皆さんを誇らしくも思います。

講演の後、改めて中学生に伝えたいことを尋ねると、「お互いに目標に向かってがんばっていこうというメッセージを伝えることができた。自分の行動は自分で決める、自分が好きでやるんだ、という思いをもって取り組んでほしい。」とおっしゃっていました。自分で決めることができる人を育てます、と私から秦選手に伝えました。

読売新聞ことばの講座

10月16日(月)の6,7校時には、読売新聞東京本社から田中孝宏様をお招きして、ことばの講座を受けました。「情報」と「ニュース」の違いや、情報リテラシーについてのお話をいただきました。

また、「情報」を集約してニュース原稿を作成し、発表する場面もありました。「～らしい」と「～です」の違いを感じ、いわゆる「一次情報」の重要性を実感できたのではないのでしょうか。これらのことは、これから先のEGGの学習にもつながるとも大切な学びとなりました。

講座の最後には、取材の心得も教えていただきました。今、みなさんがEGGで活動している実践活動の中に、「現地へ伺い話を聞く」という取り組みを考えている班が多くあると思います。そうした時にも、この講座で学んだことをきちんと心に留めて、活動していきましょう。



～講座を受けた感想～

1組 ■■■■■ 「メディアリテラシー」について、頭では理解していても実際にやられるとまだまだ力が備わっていないんだと思い知らされました。また、インタビューをしたとき、相手は意外とたくさんの情報を一度に言うので、メモをするのが大変でした。しかし、メモをとるのに必死で目を見て聞かなければ相手に失礼なので、とても難しく、記者のみなさんのすごさが分かりました。

2組 ■■■■■ 情報とニュースの違いは、発信源がはっきりしているかそうでないかが分かりました。また、ニュースを読み解くには意図・画像・数字に気をつけるとよいことが分かりました。これからのEGGでは、インタビューが多くなると思います。その時、一番礼儀を大事にしたいと思いました。あいさつ、自己紹介、目的、お礼など、たくさん気を付けることがありますが、大事にしたいです。

3組 ■■■■■ 情報を見るときは、意図・画像・数字の3つを見ることが大切だということについてとても納得した。なぜなら、画像・数字は伝える側の意図によってうまく編集されるからだ。また、それを新聞社がやっていた事例があることに驚いた。メモをするときは、一番大事なことを中心に単語だけを書くことでこんがらがってしまうと思ったが、改行などの工夫をすれば、はやく正確に書くことができると思った。

4組 ■■■■■ 最初の嘘の話を、僕は何の疑いもなくいたので、鵜呑みにするのは危険ということを改めて感じました。また、分かっているつもりでも情報を疑おうとできていないということにも気づかされました。そして今回、インタビューを試みたときは事前に質問を用意していなかったため、詰まったときに大変でした。質問を事前に考えておくのが特に大事だと思いました。

2クラス合同レクでつながりを深めました!

10月3,5日の2日間に分けて、7校時を利用して2クラス合同のレクリエーションを行いました。1学期は「学級の仲を深める」。この2学期は、「学年の仲を深める」。その足がかりになったでしょうか。当日の企画運営は学級委員さん。「場所はアリーナ、時間は1コマ、テーマはつながりを深める。」与えられたその中で、何度も話し合いを重ね作られたこの企画。クラスの枠を越えて編成されたグループで、謎を解きながらお互いに知恵を出し、意見を出す。そこには自然と会話が生まれ、お互いに笑顔になる姿を見て、こういった活動のよさを改めて感じました。企画は、運営側と参加側双方の協力姿勢があって初めて良いものになります。これからの活動にもそんな姿で協力していきましょう。学級委員さん、ありがとうございました。



今月の“よし👍”ポイント!

今月、「人に頼らないと”ありがとう”って言えないからね」という言葉を、ある方からもらいました。酒井はその言葉を聞いて、みんなにも伝えたくったのです。

1年生の半分が終わり、基礎力診断テストも終わりました。勉強にしろ、学校生活にしろ、部活動にしろ、自分の思い通りになることばかりではないと思います。そんなときに自力で頑張るのはとっても大事。でも、せっかく学校に来ているみんなだから、人に頼って、「ありがとう」を言っていきましょう。勉強も、教え合って、助け合って。「ありがとう」の溢れる12期でいきましょう。